

# ゆずりは通信

第19号 平成23年12月20日(隔月発行)

発行：ゆずりはの会事務局

電話：0565-35-7182

E-メール：[takekaki@hm8.aitai.ne.jp](mailto:takekaki@hm8.aitai.ne.jp)

ホームページ：

## ゆずりはの会 9月定例会

9月13日(火) 7時～9時

福祉センター 34会議室

話題： ゆずりはの会 の今後の進め方について、話し合いをしました。

8月はお休みでした。

## ゆずりはの会 10月例会のメモ

10月11日(火) 7時～9時

福祉センター 34会議室 22名の受講者

## テーマ「きずなの会の活動紹介」

講師 きずなの会 豊田支局 柏誠一様

### 1. NHK テレビ番組 の視聴

きずなの会の活動を紹介した30分のドキュメンタリー番組を見る。

### 2. きずなの会の役割の説明

#### ① 一つの例として、病気になった人がいる。

入院するのに身元保証人が必要だったが、息子が引き受けてくれた。

身の回り品を揃えて、嫁が病室まで、持ってきてくれた。

入院費用や医療費を病院の窓口で払ってくれた。

不幸にして亡くなられた。死亡届を出して、葬儀会社に葬儀をお願いした。

こうしたことは、家族が居る人には、何の障害もなく普通のこととして進められる。

#### ② しかし頼れる家族や親族がいない高齢者だと、何一つ進まない。

きずなの会は、こうした孤独な人と契約を結び、家族の役割を果たしてくれる。お金を払うことにより、血縁のつながらない家族を得ることができる。きずなの会は、NPO 法人であるが、まあ会社と理解してよい。

#### ③ 成年後見人の役割

成年後見人は本人の財産を管理したり、契約などの法律行為を本人に代わって行ってくれるが、スーパーなどで日用品を買ってくる、銀行へ行ってお金を出して、払ってくれるというような生活援助はしない。

きずなの会は、弁護士法人と一緒に仕事をしているので、後見の役割を果たしてくれるが、別の契約となる。

詳しくは、配布された資料やホームページをご覧ください。 <http://www.kizuna.gr.jp/>  
きずなの会 豊田支局 0565-36-0082 でも説明してさせていただきます。

## ゆずりはの会 11月定例会のメモ

11月8日(火) 午後7時～9時、 福祉センター 34会議室、 参加者45名  
トヨタ記念病院の安田副院長のお話を聞きました。以下はそのメモです。

### テーマ：認知症 ～これってもの忘れ？～

1. 導入：次の2点が質問された
  - ① 最近のニュースは何ですか？
  - ② 影絵のような手姿の写真を映し、指真似をできるか？  
すぐに答えられない人は、ちょっと心配してください。
2. 認知症には、85歳以上の人で、3人に1人になる。
3. 認知症の始まりと思われる変化
  - ① もの忘れや置き忘れ、しまい忘れがひどくなる
  - ② 同じことを何回も言う、同じことを何回も尋ねてくる。
  - ③ 話が少し複雑になると理解できなくなる。
  - ④ 家で何もせずにボーとしている。気力が低下してきた。
4. 認知症かどうかの簡易テスト
  - ① 豊田市健康増進課が“これってもの忘れ？”というチェックリストを発行している。
  - ② 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) もある。
5. 認知症と普通のもの忘れ
  - ① 何を食べたかを忘れるのは、普通のもの忘れだが、食事したことを忘れるのは病気
  - ② 新しいことがおぼえにくくなり、聞いたばかりの話を忘れることがある。
  - ③ 記憶力の低下に対する自覚がない
6. 豊田市における認知症への対策はかなり進んでいる。  
厚生労働大臣の指示である「緊急プロジェクト」にまじめに取り組んでいる。
7. 家族からの問診が重要である。  
認知症は、ある日から突然起こるのではなく、半年単位で変化してゆくような病気

である。その変化を家族は気づく

## 8. 画像診断 (CT,MRI) の意義

画像で診断できるのは、かなり重症の人で、軽い人の診断は出来ない。それでも、診断を行うのは、認知症の3つの型のひとつを判定できるからである

- ① アルツハイマー型、②脳血管の異常からくる型、③他の病気によるもの
- 3番目の型は、病気が治れば消えるので、その判定に役立つ。

## 9. 認知症には、中核症状と、周辺症状がある

### ① 中核症状

記憶障害 ; 失語など

見当識障害 : 自分がどこにいるのか、今何時なのかわからなくなる  
判断力低下

### ② 周辺症状

幻覚・妄想 : 否定しないで、よく話を聞いてあげること

徘徊 : 本人の連絡先が分かるようにする。近所・交番に話しておく。

興奮 ; 周りの人があわてないことが大切。

## 10. アルツハイマー型認知症の治療薬

### ① ドネペジル、リバスチグミン、ガランタミン、メマンチン

- ② 治すことはできないが進行を遅らせることができる。治すことができる薬は、今の所はない。

## 11. 認知症の疑いを持ったら

- ① いきなり、物忘れ外来などを受診しない。診療には、30分から1時間かかるので、混んでいて予約がとりにくい。まずかかりつけ医に相談する。
- ② 長い期間で変わって行くので、日ごろから接している医師が判断できる。
- ③ 必要に応じて、他の専門医療機関を紹介してくれる。
- ④ 地域包括支援センターも相談に乗ってくれる。

## 12. 患者を取り巻く環境が大切

- ① 認知症の中核症状は同じでも、適切なケアや環境により、介護者や本人の負担の大きい周辺症状を改善できる。
- ② 認知症介護家族支援事業が行われているので、利用してみましょう。
- ③ 認知症は地域で支える体制が必要。

介護者

周囲の家族、地域支援者、

かかりつけ医、専門医療機関 (物忘れ外来など)

ケアスタッフ

行政 等のネットワーク

### 13. 推薦図書

“明日の記憶” 萩原浩著

アルツハイマー病と診断された、働き盛りの50歳男子 の物語で、映画化された。

### ゆずりはの会 12月定例会のメモ

\*12月13日(火) 午後7時～9時 福祉センター 34会議室 13名

\*桜井秀樹さん(市議会議員)との懇談会

#### \*テーマ：豊田市の高齢者保健福祉計画について

\*ゆずりはの会でも話し合ったことがある「救急医療情報キットについて、市議会で質問された記事を見て、「福祉に造詣が深い」と思い話題提供をお願いした。

#### 話された内容

##### 1. 第5期豊田市高齢者保健福祉計画：介護保険事業計画

主な点について、多くのページの資料に基づいて説明。

高齢化率、実態調査、介護保険制度の内容など、関係する項目を含めての説明で、わかりやすかった。

##### 2. 救急医療情報キット

① 静岡県吉田町で配布、議員としての視察した内容の報告

② 配布対象者：65歳以上の一人暮らし、65歳以上の高齢者のみ世帯  
希望者のみ、無料

③ 特徴：記入された情報が消防署にも提供されている。

救急隊は電話を受けると、キットの有無を確認し、保管しているなら、駆けつけたときにそれを取り出して、内容を参考にする

##### 3. シニア・ピア、傾聴ボランティア事業

① 千葉県船橋市で、市の事業として実施

② 傾聴ボランティアを養成、40時間の講習、  
21年度末で 受講者は335人、訪問回数は3717回(21年)

③ 豊田市でも「お元気ですかボランティア」と類似の事業を行っているが、先輩である。

##### 4. いきいき・元気サポート制度

① 有償のサポーター派遣 社協が管理  
30分で350円、

② まだ始まったばかり。

22年1月=9,000円、2月=18,500円、3月=28,500円 の実績

- ③ 車両での送迎は行っていない
  
- 5. 公園管理事業の一部を地域展開
  - ① 市の公園の管理作業を地域に委託する。いくばくかの報酬が支払われることでやる気が高まる。
  - ② 一部の地域で実施
  
- 6. 3回目の成人式
  - ① 退職するタイミングの60歳の人を対象  
今後の生き方を考えてもらうための行事の実施を提案